

学校評価アンケート結果分析（学校評価小委員会）

< 生徒アンケート >

- A（本校に入学して満足している） B（本校の学校行事に満足している）

昨年に引き続き、9割以上の生徒が肯定的な評価をしている。

- C「私はきちんと勉強している。」

肯定的な回答している生徒の割合が年々増加している。

- D（週末課題）

「役立っている」という生徒の割合が若干減少している。課題の量や質についてさらに検討していく必要がある。

- E（長期休業中の課題）

約8割の生徒は「役立っている」と回答している。量が多いとの意見も依然としてあるので、量や内容の検討、課題を与える時期の工夫などを継続したい。

- F（土曜日の学校開放）

「役立っている」という割合が増加している。特に3年生が積極的に利用しているようだ。

- G（平日課外）

今年度は、「5わからない」とする生徒が10%増加した。課外の成果は実感しにくいことの表れかも知れないが、生徒の希望に添った形で実施できると良い。

- H（土曜講座）

満足している生徒の割合が減少している。生徒が「ためになる」と思える内容を心がけたい。また、回数が多いという意見があるが実際は一昨年より回数は減っており、定期テスト前や三連休中の実施を避けているため日程的に負担感が強まったとも考えられる。より効果的な実施ができるよう内容・回数とも検討していきたい。

- J（進路意識）

自身の進路について真剣に考えている様子が伺える。進路行事や担任との面談を通して、さらに視野を広げさせ、考えを深めさせたい。

- K、L（進路資料）

多くの生徒が参考にしている様子がうかがえる。生徒にとって有益な情報を、的確・正確に伝えていきたい。

- N（学問への招待）

参考になったとする生徒が多い。ただし、希望講座にかなりの人数差があるので、講座内容の見直しを図っていきたい。

- Q（交通指導）

交通事故防止のために、交通ルールやマナーに対しての意識を高めていきたい。

< 保護者アンケート >

- A（本校に入学させて満足している） B（本校の教育活動に関心がある）

昨年に引き続き、9割以上の保護者から肯定的な評価をいただいた。

- D, E（課題について） H（土曜講座）

昨年に引き続き、8割以上の保護者から肯定的な評価をいただいた。

- J, K（進路資料）

多くの保護者が参考にしている様子うかがえる。一方で、存在そのものを知らない保護者もいるので、活用方法を含めて見直したい。

○ N（進路講演会）

今年は1,2年の進路講演会を分けて実施した。より充実した講演会になるよう、次年度も内容や講師などを検討したい。

○ P（頭髪服装指導）

ソックスの長さについては、「ふくらはぎにかかる程度の長さ」という指導を以前より継続してきている。今までの内規に長さの記載が無かったので、追記した。服装規程などが記載されている生徒手帳もこれまで入学年次にしか配布されていなかったが、毎年配布する方向で検討している。また、エアコン使用時の教室でのカーディガン着用について検討する必要がある。

< 職員アンケート >

○ E（土曜講座）

生徒が「ためになる」と思えるような内容となるよう、さらに工夫・改善を図る必要がある。また、定期テスト直前や三連休中の実施を避けている都合上、どうしても模擬試験のある月にも土曜講座を入れざるを得ない状況がある。

○ H、J（進路資料）

「進路の手引き」「進路だより」について、内容の検討を行い、今以上に参考になるものにしていきたい。

○ I（志望校検討会議）

生徒の進路実現に向けて、よりよいアドバイスをするために活用されている。また、教職員にとっては進路指導の研修の場としても活用されている。しかし、実施方法については様々な意見があり、検討を重ねている状況である。

○ P（頭髪服装指導）

共通理解を図り、「そのときその場での指導」の徹底を図りたい。